

■ レポートの編集方針

本レポートはダイキンの持続可能(サステナブル)な成長に向けた基本的な考えと2020年度の実績、今後の計画を報告するものです。2015年度に戦略経営計画の策定に合わせて、企業と社会双方の持続可能な発展に向けたCSRの重点テーマを「価値提供」4テーマ(環境、新価値創造、顧客満足、人材)と「基盤」5テーマ(コーポレート・ガバナンス、人権の尊重、サプライチェーン・マネジメント、ステークホルダー・エンゲージメント、地域社会)と決めました。

レポートは、冊子とWEBサイトの二つの媒体で構成しています。冊子は、ダイキンのサステナブルな社会に向けた戦略と、「価値提供のCSR」4テーマ、そのベースとなる「基盤的CSR」5テーマのうち重要な情報を中心に編集しています。

特に記載のない場合はダイキングループ全体の実績を示しています。

WEBサイトには詳細なデータや過去の事例などについても掲載しています。

「CSR・環境への取り組み」WEBサイト



<https://www.daikin.co.jp/csr/>

「株主・投資家情報」WEBサイト



<https://www.daikin.co.jp/investor/>

▲
最新の財務情報など
IR資料はこちらをご覧ください。

参考にしたスタンダード

GRI(Global Reporting Initiative)のGRIスタンダードを参照し、本レポートを作成しました。ガイドライン対照表はWEBサイトに掲載しています。また、活動にあたってはISO26000も踏まえています。

2008年10月にダイキン工業は、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に署名しました。「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の10原則を支持し、その実践に努めるとともに、国連にサステナビリティレポートをCOP(Communication on Progress)として提出しています。

第三者検証

報告内容に対する信頼性の確保のために、温室効果ガス排出量と水使用量、排水量、廃棄物排出量、化学物質排出量について第三者検証を受けました(P51参照)。

報告対象組織

ダイキン工業およびその連結子会社を報告対象としています。ただし、環境パフォーマンスデータの集計範囲はダイキン工業の生産事業所4拠点と、国内生産子会社8社、海外生産子会社44社としています(社名などは当社WEBサイトをご覧ください)。

本レポート内で用いる「ダイキン」はダイキングループ全体を、「ダイキン工業」はダイキン工業株式会社を示しています。

報告対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日

発行日

2021年7月

次回発行予定 2022年7月

お問い合わせ先

ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター
TEL(06)6374-9304 FAX(06)6374-9321
E-mail csr@daikin.co.jp

ご注意

2020年度の活動を報告するにあたり、データを精査、これを修正した結果、2019年度の報告書と実績数値が異なっている項目があります。また、端数処理のため、合計が合わない項目があります。

将来に関する予測・予想・計画について

本レポートには、ダイキン工業株式会社とその連結子会社(ダイキングループ)の将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。従って、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本レポートに記載した予測・予想・計画とは異なったものとなる可能性があります。